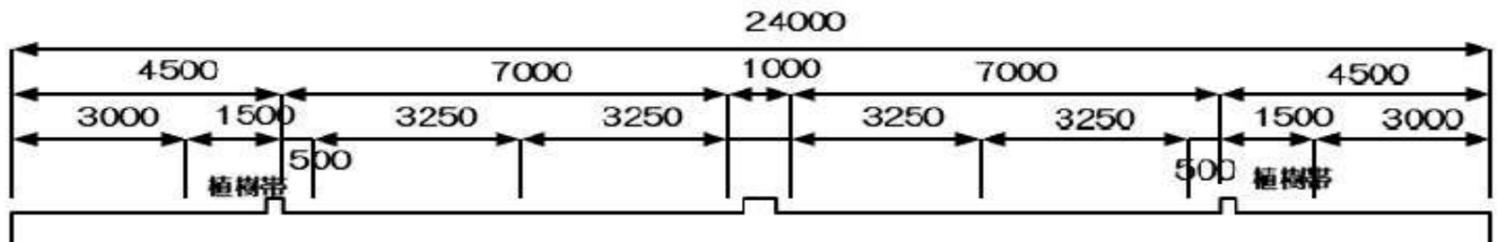


○事業名
片岡栗東線 都市計画街路整備事業

- ・全体計画延長：L=2.5km
- ・計画幅員：W=24.0m(4車線+両側自歩道)[1工区、2工区]
- ・1工区 R3年度末工事完了予定



<片岡栗東線 計画幅員>



○事業概要
本線は、守山市欲賀町の大津守山近江八幡線を起点に、大津湖南幹線や国道8号と交差しながら、栗東市高野の国道1号に至る延長6.3kmの都市計画道路です。守山市の市街地や古高工業団地と名神高速道路栗東ICを結ぶ重要な路線にも関わらず、慢性的な渋滞をきたしています。加えて、JR栗東駅や守山駅、済生会病院へ向かう歩行者も通られるが歩道が連続していない状況にあります。国施工の国道8号野洲栗東バイパスと連携しながら4車線両側歩道の道路整備を実施し、渋滞の解消および歩行者等の安全な生活環境の確保を目指しています。

片岡栗東線 R2年3月6日 4車線供用開始(宅屋交差点～アグリノ郷L=600m)

国道8号～湖南幹線間のアクセス向上のため、現道(2車線)を4車線に整備しています。

工事前(宅屋交差点付近)



工事後(宅屋交差点付近)



工事前(コンテナランド付近)



工事後(コンテナランド付近)



工事前 渋滞多し



工事後 解消



R2年3月6日 4車線供用区間L=600m